

2007年1月1日～2016年12月31日の間に 当科において躁うつ病（双極性障害）の治療を受けられた方、 および、御家族の方へ

—「精神科外来患者（双極性障害）を対象とした後ろ向きカルテ調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
研究機関長 那須保友

研究責任者	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学	准教授
	岡山大学病院 精神科神経科	副科長 寺田整司
研究分担者	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学	教授
	岡山大学病院 精神科神経科	科長 山田了士
	岡山大学病院 精神科神経科	医員 竹之下慎太郎
	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学	院生 林 聡
	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学	客員研究員 横田修、三木知子

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

躁うつ病（双極性障害）は、発症年齢が非常に若いことが知られています。60歳代や70歳代で発症する場合も稀にはありますが、平均発症年齢は10代後半から20代半ばとされています。ただ、これらの報告の多くは欧米からのものであり、我が国での調査報告は稀です。最近、躁うつ病（双極性障害）11例を対象とした調査で、全例で脳に異常蛋白（嗜銀顆粒）の蓄積が認められたとする報告が本邦から行われました。その研究で検討された11例のうち、発症年齢の判明している10例について、平均発症年齢を計算すると41.8歳（22-56歳）となっています。この年齢は、一般に云われている平均発症年齢と比較すると、明らかに高齢です。日本は世界的に見ても、高齢化の非常に進んだ社会であり、最近の我が国における双極性障害の発症年齢を明らかにすることは、非常に意味のあることです。また、同じ双極性障害の患者であっても、若年発症例と高齢発症例とで、画像所見などに違いがあるかどうか重要な問題です。高齢での発症に、脳の器質的な病変が影響している可能性を明らかにすることができます。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

我が国における双極性障害の発症年齢の分布が明らかとなります。次に、若年発症例と高齢発症例との間に、精神症候や画像所見の違いがあるのか否かも明らかとなります。高齢発症例でのみ脳の器質的な病変が高頻度に認められる場合には、発症に器質的な病変が影響している可能性が示唆されます。器質的な病変の影響などが大きい場合には、薬の治療だけに頼るのではなく、リハビリテーションなども活用することが重要となるなど、治療方針や看護・介護の方針も異なってきます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2007年1月1日～2016年12月31日の間に岡山大学病院精神科神経科において躁うつ病（双極性障

害)の診断を受けられた方300名を研究対象とします。なお、後ろ向きのカルテ調査のため、人数については増減する可能性もあります。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2022年12月31日

3) 研究方法

2007年1月1日～2016年12月31日の間に当院において躁うつ病(双極性障害)の診断を受けられた方を対象として、研究者が診療情報をもとに発症年齢や画像所見などのデータを集めて、発症年齢の違いによる症候や検査所見の差に関する分析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日など対象者を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなた(あるいは対象者)の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、発症年齢、性別、家族歴、診断名、精神神経症候
- ・ 服薬内容、頭部MRI所見、頭部CT所見

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院精神科神経科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなた、または御家族の御希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなた(あるいは対象者)の試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 精神科

氏名：寺田 整司

電話：086-235-7242 (平日：9時00分～16時30分)

ファックス：086-235-7246